

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 アミティエ光星		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		R7年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		R7年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの手厚い個別支援が可能である。	職員の目が十分に届き、子どものペースや特性に合わせた支援が実践しやすい。	集団の中で埋もれず、「できた」の成功体験を積み重ねていく経験など、個別支援の充実を図る。
2	家族との密な連携ができる。(保護者支援の充実)	保護者との面談やフィードバックの時間を丁寧に確保でき、相談や不安に対して迅速に対応できる。	保護者との相談体制や、連絡帳などで情報共有を行い、保護者の不安軽減と信頼関係の深化を図る。
3	新しい事業所として柔軟性が高い。	開所して間もないため、利用児のニーズに合わせて、環境整備や教材導入を柔軟に検討できる。	まずは現利用者との信頼関係の構築に努め、その取り組みを新規利用者や関係機関に広げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業としての認知度が低い。	新規事業所のため利用相談が少なく、稼働率が低い。	SNSやホームページなどによる情報発信や、相談支援事業所や保育園などとの連携を強化していく。
2	ケース数が少なく、支援実践の経験が限定されてしまう。	さまざまな発達段階・課題への支援経験が増えにくい。	外部研修の情報を職員間で周知したり、困りごとを相談しやすい環境作りを行う。
3	利用児が少なく、集団経験の機会が限られてしまう。	同年代との関わりや、集団活動を経験する場が少ない。	個別支援に特化しながらも、希望にあわせて、放課後等デイサービスの利用児童との関わりなど行う。